

今日のトピック 2022年2月の注目イベント
3月のFOMCに向け、FRBの議事要旨やインフレなどに注目

- 2月には、1月25日、26日に開かれる米連邦公開市場委員会（FOMC）の議事要旨が発表されます。米連邦準備制度理事会（FRB）は、昨年11月から量的緩和の縮小（テーパリング）を開始しました。その後、12月のFOMCでは利上げ予想などが引き上がり、更にその議事要旨ではバランスシートの縮小について突っ込んだ議論が交わされたことが明らかになりました。1月のFOMCでは、金融政策の大きな変更はないと思われませんが、3月にも利上げ開始が見込まれる中、議論の中身にも注目です。また、FRBが金融政策の正常化を急ぐ背景には、消費者物価の大きな上昇があり、物価の動向にも注意が必要です。
- 日本では10-12月期のGDPが発表されます。当該期間は、日本では新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きを見せていた時期ですが、これが景気にどのように表れたのか、注目です。
- 中国では、1月31日から2月6日まで春節（旧正月）の休暇となります。また、4日から20日までは北京冬季オリンピックが開催されます。新型コロナウイルスの感染拡大により厳戒態勢が敷かれる中ですが、スポーツの熱気が相場に好影響となることも期待されます。

【各国・地域の経済指標、金融政策決定会合等イベントの予定（2022年2月）】

米国	欧州	中国・アジア・その他	日本
1日:1月ISM製造業景況指数 3日:1月ISM非製造業景況指数 4日:1月雇用統計 8日:12月貿易収支 10日:1月消費者物価指数(CPI)	3日:欧州中央銀行(ECB)理事会、イングランド銀行(BOE)金融政策委員会 4日:ユーロ圏12月小売売上高	1月31日-6日:中国春節(旧正月)休暇 1日:豪州金融政策決定会合 2日:ブラジル金融政策決定会合 4-20日:北京冬季オリンピック 7日:中国1月財新非製造業PMI、1月外貨準備高 9日:インド金融政策決定会合、タイ金融政策決定会合、ブラジル1月IBGEインフレ率 10日:インドネシア金融政策決定会合、メキシコ金融政策決定会合	1日:12月失業率、12月有効求人倍率 8日:12月家計調査、12月毎月勤労統計、12月国際収支、1月景気ウォッチャー 10日:1月オフィス空室率
11日:2月ミシガン大学消費者センチメント指数 15日:1月生産者物価指数(PPI) 16日:FOMC議事要旨 、1月小売売上高、1月鉱工業生産	11日:イギリス10-12月期GDP 、12月鉱工業生産 14日:ユーロ圏12月鉱工業生産 15日:ユーロ圏12月貿易収支 16日:イギリス1月CPI 18日:ユーロ圏2月消費者信頼感指数、イギリス1月小売売上高	16日:中国1月PPI・CPI 17日:豪州1月雇用統計、トルコ金融政策決定会合	15日:10-12月期GDP 17日:12月機械受注、1月貿易収支 18日:1月全国CPI
22日:12月S&Pアロジック・ケースシラー住宅価格指数、2月製造業・非製造業購買担当者景気指数(PMI)、消費者信頼感指数 25日:1月個人所得、個人支出(PCE)、PCEデフレーター 、耐久財受注	21日:ユーロ圏2月PMI 22日:ドイツ2月IFO企業景況感指数	28日:豪州1月小売売上高、 インド10-12月期GDP 、 トルコ10-12月期GDP	28日:1月小売業販売額、1月鉱工業生産、1月住宅着工件数

(注) 2022年1月24日現在。日付は現地時間。（出所）各種報道等より三井住友DSアセットマネジメント作成

**ここも
チェック!**

2022年1月21日 今後の金融政策と米国株式市場 3月以降は堅調さを取り戻そう
2022年1月18日 2022年の米国のインフレ見通し

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。